

OnBaseで情報システムのスプロール化*を最小限に抑制

OnBaseは、コンテンツ、プロセス、ケースを管理する単一のエンタープライズ情報プラットフォームです。単一のデータベース、コードベース、コンテンツリポジトリで、エンタープライズコンテンツマネジメント (ECM)、ケース管理、ビジネスプロセス管理 (BPM)、キャプチャテクノロジーすべてを実行します。OnBaseを補完するShareBaseでは、「エンタープライズファイル同期と共有 (EFSS)」サービスをご利用いただけます。

*無秩序に拡大する現象

OnBaseの特長:

単一のエンドツーエンドアーキテクチャで構成されており、以下のメリットを提供します。



1つのデータベースとコンテンツリポジトリ

パフォーマンスを重視するOnBaseデータベースは、検索時間が1秒以下と非常に速く、しかも拡張可能で、最大1000兆件におよぶ文書を管理できます。



1つのシステムをセキュリティ保護

ユーザーがデバイスから情報にアクセスする際、ネイティブなセキュリティコントロールと、極めて強力な暗号化ツールによって、データの保存中や転送中でも情報が保護されます。



1つの連携ポイント

OnBaseは、目的別、画面レベル、データレベルの統合を介して重要なアプリケーションを連携させ、アプリケーション間でほぼリアルタイムのデータ交換を保証します。



1つのアプリケーションをアップグレード

OnBaseは平均して毎年メジャーリリースを1回、マイナーリリースを1回実施し、技術革新や業界の動向に対応しています。OnBaseの2つのバージョンを一時的に平行して実行することで、アップグレードプロセス時のダウンタイムを短縮し、リスクを低減できます。



1つのアーキテクチャを保護 - オンプレミス型またはクラウド型

クラウド型の展開では、複数の地理的位置にまたがってデータの複製コピーが最大3部データセンターに格納されるため、最大限のビジネス継続性が確保されます。オンプレミス型展開では、高額なSANやNASなどのシステムを導入することなく、ネイティブに文書を保護できます。



1つのモバイルプラットフォームで多数のデバイスをサポート

OnBaseは、Apple®、Android®、Windows®フォンおよびタブレット向けのネイティブクライアントによって、直感的に使用でき、移動中も重要な情報やプロセスに確実にアクセスできる機能を提供します。

OnBaseを総合的なIT戦略の一環として用いることで、IT環境が簡素化され、情報のサイロ化やアプリケーションの分散化が大幅に減少します。ポイントアンドクリックによる設定のため、業務ニーズに合わせてコンテンツを有効にするアプリケーションを迅速に組織全体に展開することができます。

詳細は OnBase.com をご確認ください。

OnBase[®]
by Hyland

ソリューション構築

OnBaseを使用した場合

メリット

1つのプラットフォームで無制限のコンテンツ対応アプリケーションをサポート



1つのデータベースとコンテンツリポジトリ



1つのアプリケーションをアップグレード



1つのシステムをセキュリティ保護



1つのアーキテクチャを保護 - オンプレミス型またはクラウド型



1つの統合ポイント



1つのモバイルプラットフォームで多くのデバイスをサポート



VS

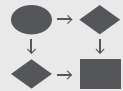
個別の製品ポートフォリオを使用した場合

必要となるサポート

ECM
リポジトリ



BPMエンジン



ケース管理
ツール



キャプチャ
ツール



カスタム仕様の
アプリケーション



複数のサイロ型アプリケーション

VS

VS

VS

VS

VS

VS

VS



複数のデータベースとコンテンツリポジトリ



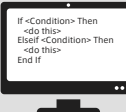
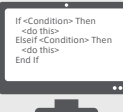
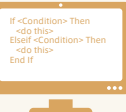
複数のアプリケーションをアップグレード(アップグレードサイクルは異なる)



複数のシステムをセキュリティ保護



複数のクラウドアーキテクチャとオンプレミス型アーキテクチャを障害から保護



複数の統合ポイント(多くの場合カスタムプログラミングを必要とする)



複数のモバイルオプションの検討が必要